



一般社団法人ヒトリハ

第4期 年次報告書

(2023年2月1日～2024年1月31日)

一般社団法人 Hito Reha

メール

info@hitoreha.com

Web サイト

<https://hitoreha.com/>

Tel

090-2889-2014

〒986-0011

宮城県石巻市湊字立石 64 番地

第4期 実績概要

- 2023年2月11日(2022年9月11日～)
第2期 Social Innovation Accelerator College 最終発表&受入活動終了
- 2023年2月24日～3月28日
Piece4 冊目発行に伴うクラウドファンディング 57名 34万2千円のご支援
- 2023年2月25日、3月25日
パラレルアクティビティイベント開催
- 2023年3月31日
河北新報社 石巻かほくにて「パラレルアクティビティ」記事掲載
- 2023年4月1日
パラレルアクティビティ事業リリース
- 2023年4月10日～5月2日
クラウドファンディング返礼品送付
- 2023年4月13日
キリン福祉財団 令和5年度「キリン・地域のちから応援事業」採択
- 2023年4月24日
仙台経済局4月例会 登壇・発表
- 2023年4月25日
鹿妻小学校コミュニティースクール 副委員長就任
- 2023年5月10日
瀬島さんのチャンネルにてVoice 生放送
- 2023年5月20日
石巻市地域づくり基金助成金 採択
- 2023年6月6日
Etic Beyonders プログラム 開始
- 2023年6月7日
石巻好文館高等学校 SDGs 探究学習の講話
- 2023年7月3日～14日
学校法人仙台育英学園秀光中学校にて「社会課題解決ワークショップ」メンター
- 2023年6月1日,7月6日,9月7日,10月5日
鹿妻のいろどりマルシェ開催
- 2023年7月22日,29日8月5日
パラレルアクティビティにて「一緒に海に入ろう」を開催
- 2023年8月10日
NPO 法人 UBUNTU と海水浴イベント開催
- 2023年8月26日
石巻市鹿妻地域夏祭り開催
- 2022年9月5日
KHB 東日本放送 チャージ!の特集として放送された
- 2022年10月15日
鹿妻小学校PTA 秋の子ども祭り開催
- 2023年10月29日
社内旅行(リトリート)にて宮城県 MARUMORI SAUNA 訪問
- 2022年11月3日
第3期 Social Innovation Accelerator College 受け入れ企業開始
- 2023年12月4日～6日
石巻西高等学校 探究学習受け入れ
- 2024年1月8日
Vision MAP 完成
- 2024年1月27日
「人生ゲームで考える」障がいとの向き合い方 イベント開催

経営理念と役員紹介



経営理念

誰もが仲間や地域と共にいるどりの暮らしと寛容な社会を実現する

Mission

チェンジにチャレンジそして一歩前へ

Vision

誰もが自らの持つ可能性を広げ
多様な日常を愉しめる

大切にしている価値観・行動指針 (way)

- “コミュニティ”を大切にできる
- “分断”ではなく“共存”へ
- ハッピーを生み出す仲間であり続ける

役員紹介



代表理事 横山 翼

理 事 庄司 剛仁

理 事 小野寺 和清

理 事 須田 全

監 事 齋藤 大地

Vision MAP 紹介



誰もが自らの可能性を広げ多様な日常を愉しめる

設立以前、「温泉やカフェに行っても障がい者やその家族がない」という現実には愕然としました。しかし、海水浴のイベントでは多くのサポーターと環境を整えることで障がい者もその家族もその場に居て愉しむことができます。このことから「イベントではなく“日常”に」が HitoReha のテーマになっています。

失敗を恐れること、自信が持てず悲観的になること、置かれた環境に適応できないこと、あらゆることから自らの可能性を失っている人を見てきました。Hito Reha は一人ではできないことを共に補い合う“エンパワーメント”を通じて、その人の可能性を導き、共に歩みを進めていきます。

エンパワーメントを通じて、自分らしい生き方に向き合うための“挑戦”が始まります。様々な体験を通じて、その日常にワクワクしたり、地域や社会と繋がりながら生きていくことの愉しさに出会い、それを寛容な社会が受け止めていける。そんな世界観を大切にしています。

各事業活動と実績

＜パラレルアクティビティ＞

2023年4月1日より子どものパーソナルトレーニングとして、1時間の個別指導をリハビリ専門職が行う「パラレルアクティビティ」を開始しました。現在までに17人の子どもが通い個別指導を受けています。



■ 交流を通じて夏を堪能



■ 季節や多様なアクティビティにも挑戦



■河北新報社 石巻かほく 掲載記事紹介

体動かすこつ学ぼう 運動苦手な児童へ教室開講 理学療法士らが個別に助言 石巻

2023年3月31日 11:35

運動やスポーツが苦手な小学生を対象に、体を動かすこつや楽しさを伝える取り組み「パラレルアクティビティ」が4月1日から毎週土曜日、石巻市中里小の体育館を会場に始まる。参加者を募集している。

障がいのある人やその家族らのコミュニティー形成、地域のにぎわい創出などを実践する同市湊の一般社団法人HitoReha（ヒトリハ）が主催する。

リハビリ専門職の理学療法士や作業療法士の資格を持つ同法人のスタッフやボランティアらが、子どもたち一人一人に合わせた運動を提案。子どもたちはボール遊びや縄跳び、バドミントンのほか、片足ジャンプなど全身を使う動きを通じて、得意な部分を伸ばし、体の動かし方を学ぶ。



参加する児童一人一人にスタッフが指導する（ヒトリハ提供）



運動苦手でも楽しい 小学生が海水浴体験 石巻・渡波でイベント

2023年8月12日 12:00

石巻市湊の一般社団法人「HitoReha（ヒトリハ）」は、7月22、29日と8月5日の3日間、石巻地方の小学生向けに海水浴イベントを開催した。海に入ることができない子どもたちに挑戦の機会を創出しようと企画した。

ヒトリハは今年4月から、運動やスポーツが苦手な小学生を対象に、体を動かすこつや楽しさを伝える取り組みの「パラレルアクティビティ」を実施している。理学療法士や作業療法士など、リハビリ専門職の資格を持つスタッフやボランティアが、個人に合わせた運動を提案し、一対一で教えている。

イベントは渡波海水浴場を会場に、パラレルアクティビティに参加している小学生とその家族ら約10組が参加。ライフジャケットを着け、実際に海に入ったり、ビーチフラッグやボート遊びを体験したりした。普段車いすを利用している参加者もスタッフらと協力して水遊びを楽しんだ。



渡波海水浴場をタイヤ付きボートで移動する参加者（HitoReha提供）

■ウェブメディア 掲載記事紹介

病気や障害があっても伴走すれば、
挑戦の先にある“自分らしさ”を
見つけることができる

庄司剛仁 / 理学療法士
一般社団法人HitoReha

庄司剛仁 / パラレルアクティビティ事業責任者

パラレルアクティビティでは、リハビリ専門職の理学療法士や作業療法士が、1時間かけて子どもと1対1でかかわります。「まず、やってみよう。挑戦することで新しい発見があったり、自分らしさをつくっていくことになる」と語る庄司さんの本質を聞いてみました。

<鹿妻地域インクルーシブ事業>

2023年4月より活動の名称を「鹿妻地域インクルーシブ事業」と改めました。名称を改めたことにより、第3期まで活動していた「マルシェ」に加え、石巻市立鹿妻小学校のコミュニティスクールに参画し、教育、防犯・防災にもかわりながら、排除されないコミュニティづくりに取り組みました。加えて、夏祭り等を通じて地域とのハブになる取り組みも行っています。

■ 鹿妻のいろいろマルシェ

第4期は、株式会社あいのや様の空地进行を利活用、キリン福祉財団様より活動助成を得ています。



出店は「就労継続 B 型事業所 YUTTARI」にご協力をいただき、カレーライスを販売してもらいました



■石巻市立鹿妻小学校 コミュニティスクール

令和5年4月より石巻市立鹿妻小学校においてもコミュニティスクールの準備会を経て、発足されました。代表理事の横山が副会長に就任し、学校の生徒の様子のみならず、地域と学校の連携のハブになるよう、防犯・防災に加え、特別支援教室の支援員のボランティアの仕組みの導入等の活動をおこなっています。



■鹿妻地域夏祭り

約10年ぶりの開催となり、各町内会長様をはじめとした関係者のみなさんにご指導をいただきながら、やぐらの設置、夏祭りの出し物を準備しました。子どもから大人、この鹿妻に住む方々の参加を通じて、賑わいを取り戻す一つの取り組みであったと思います。



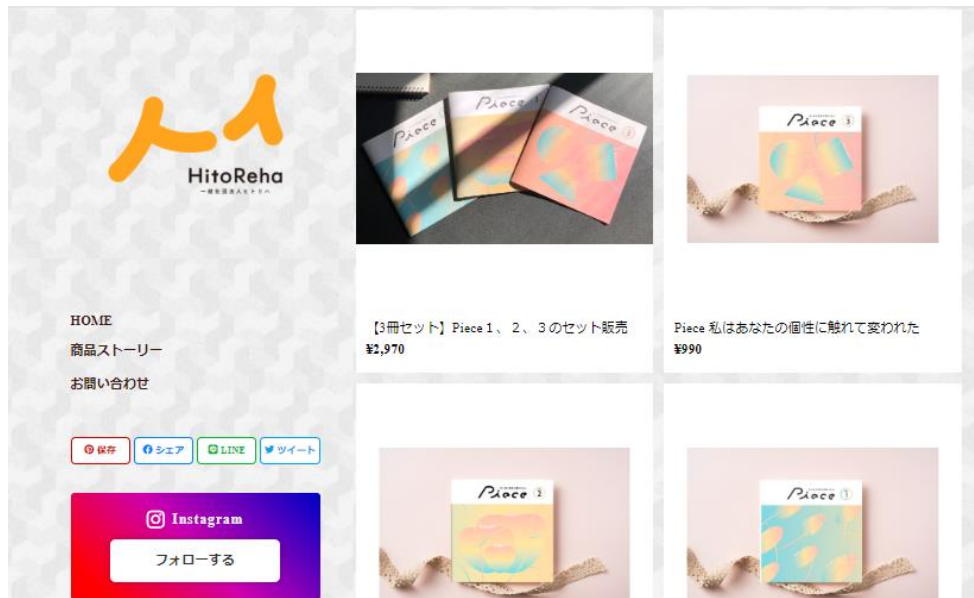
<Piece プロジェクト>

Piece プロジェクトは、障がい児者の母親の雇用支援、メディアを通じて「声なき声を届けていく」プロジェクトです。第4期は冊子の新刊発行だけでなく、ウェブメディアの開設に伴い、「支援者」のみなさんの声も届けています。母親の雇用枠も広がり、常時採用を受け付けることが出来るようになりました。

■ 共に歩む家族と綴る Piece







Piece 1 あなたの個性と共に歩み続ける	2021年12月発行
Piece 2 あなたの個性を育む愛情を	2022年4月発行
Piece 3 私はあなたの個性に触れて変わった	2022年8月発行
Piece 4 光と影 それも“きょうだい”	2023年4月発行

販売はオンラインストア（BASE）と金港堂石巻店で行っています。



■福祉と子育てをつなぐ Piece ウェブメディア

ウェブメディアを通じて、支援をされている方の声を掲載し、支援者の良い取り組み、想いも知ってもらえるように制作しました。

<p>児童・学童支援</p>  <p>すべての子どもに学校の次の選択肢を。好きから始まる学びで生きる希望を見つけていく。</p> <p>© 2023.08.23</p>	<p>地域密着</p>  <p>私たちは地球と共に生きている。身近にある環境に目を向けてみよう。</p> <p>© 2023.07.24</p>
<p>児童・学童支援</p>  <p>“障害”という言葉がなくなればいい。“違い”を尊重し合える世界観を目指して。</p> <p>© 2023.06.19</p>	<p>児童・学童支援</p>  <p>私らしい子どもたちとの関わりで日常の暮らしに人の繋がりや輪をつくる</p> <p>© 2023.05.29</p>
<p>児童・学童支援</p>  <p>人生を豊かに楽しく生きるために、まだ出会ったことのない自分に会いに行こう</p> <p>© 2023.05.08</p>	<p>地域密着</p>  <p>誰もが誇りを持って“働ける”。そのために“やりたい”を共に伴走していく。</p> <p>© 2023.02.23</p>

■障がい児者の母親の雇用支援の成果

成果項目	2021年9月～ 2022年8月	2022年9月～ 2023年8月	2023年9月～ 2024年1月現在
雇用者数	延べ8名	延べ12名	延べ15名
平均雇用期間	4.2か月	6.6か月	6.1か月

■クラウドファンディング

Piece4 冊目の発行を記念して、「障がいを持つ“きょうだい”の本音を伝え、生きづらさから寛容な社会へ」というテーマでクラウドファンディングを行いました。57 名の方から 34 万 2 千円のご支援を頂き、誠にありがとうございました。

#社会にいいこと #医療・福祉 #本・漫画・写真 #人権 #マイノリティ #ママのチャレンジ

障がいを持つ“きょうだい”の本音を伝え、生きづらさから寛容な社会へ

一般社団法人Hito Reha



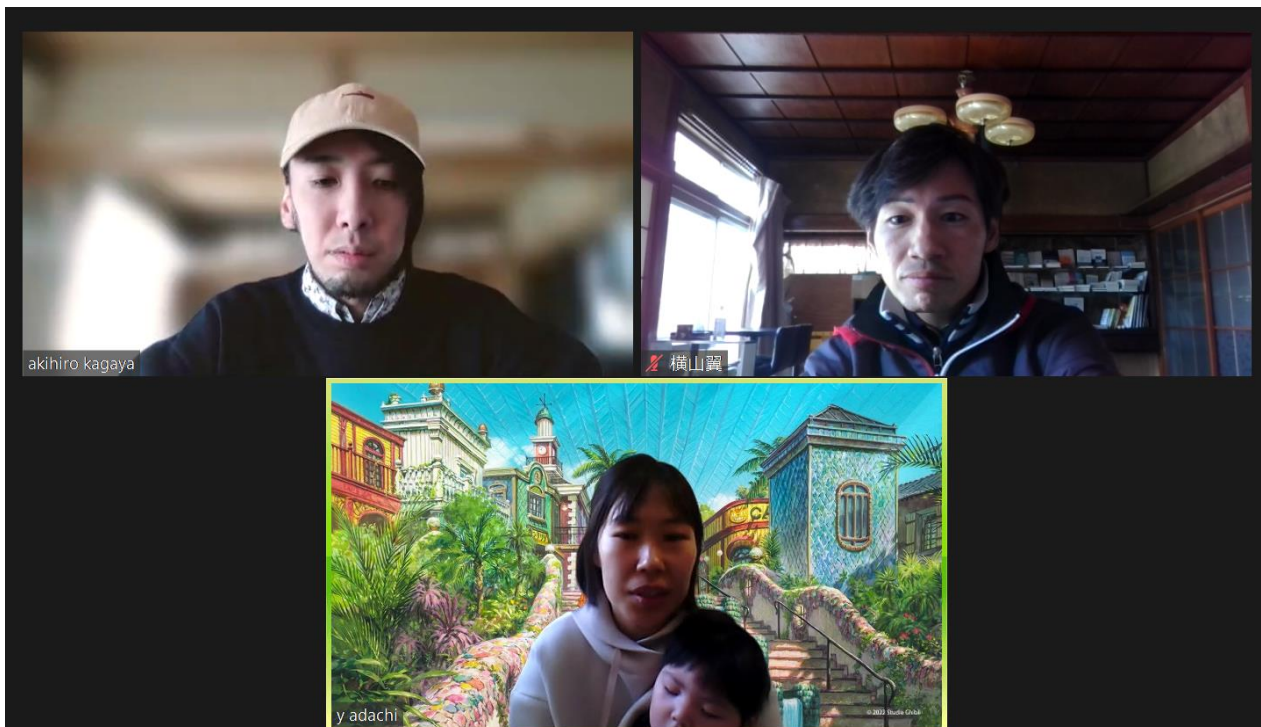
支援総額
342,000円 目標金額 300,000円

支援者 57人 募集終了日 2023年3月26日

プロジェクトは成立しました!

■令和4年度 みやぎチャレンジプログラム

みやぎチャレンジプログラムを通じてご寄付をいただき、Piece プロジェクトで活動する母親の「デザイン研修費」と「ノートパソコンの購入費」に使わせていただきました。



■ウェブメディアメディア 掲載記事紹介



2023/07/30 (日) 16:00

ライターは障がい児者の母親たち!“働ける選択肢”で親を応援する宮城発の福祉メディア

大洞静枝
フリーランスライター



■KHB 東日本放送 チャージ!特集にてテレビ放送



＜学生の探究学習と社会起業家育成＞

Hito Reha の活動が学生の探究の場として活用してもらいながら、将来のやりたいこと、目標の発見のために活用してもらっています。また、これまでの知見を活かし、起業家育成にもつなげています。

■デザイン思考を活かした社会課題解決ワークショップ in 学校法人育英学園 秀光中学校



■石巻西高等学校 探究学習



■石巻好文館高等学校 SDGs 探究学習



■第3期 Social Innovation Accelerator College (SIAC) の受入企業

昨年に引き続き、仙台市が主催となり、「令和5年度ソーシャル・インパクト加速化事業」として一般社団法人IMPACT Foundation Japanが協働して運営をする「Social Innovation Accelerator College」の実践型プロジェクトの提供企業となりました。



その他の法人活動

■いしのまき圏域 SDGs パートナー 2021年6月10日 登録・加盟



■仙台経済局 2023年4月例会にて登壇・発表

仙台市の Social Innovation Accelerator プログラムを通じて経済局の方々に取り組みをご紹介する機会を得ました。



■会社パンフレットを完成



一般社団法人Hito Reha
代表理事
横山 翼

誰もが自らの「暮らし」に
「誇り」と「可能性」を持てる
日常へ



横山 翼 (よこやま つばさ)
1991年に生まれ、出身は兵庫県宝塚市。
2011年の東日本大震災を機に、藍野大学(大阪府)を卒業後、2014年宮城県石巻市へ移住。理学療法士として、医療、介護、福祉の現場にかわりながら、地域づくり、まちづくりにも参画。2020年2月に発起人として法人を設立する。



はじめまして、一般社団法人Hito Reha代表理事の横山翼です。

設立以前、「温泉やカフェに行っても障がい者やその家族がいない」という現実が愕然としました。しかし、海水浴のイベントでは多くのサポートと環境を整えることで障がい者もその家族もその場に居て楽しむことができています。このことから「イベントではなく「日常」に」がHito Rehaのテーマになっています。

Hito Rehaは、個人、地域、社会それぞれのフェーズで、“制度と制度の狭間”へ革新的なサービスや仕組みを試みています。例えば、運動が苦手な子ども、発達の違いのある子どもへのパーソナルトレーニングでは、子どもが本来持っているはずの能力を十分に発揮できていないことがあります。

適切な指導とコーチングがあれば、4か月ほどで、運動能力が改善され、新たな可能性に満ち溢れた日々と出会うことができます。

また、障がい児者の母親の雇用も深刻な問題です。働くことを希望しているのに、働くことができない、現況の制度や資源を活用できない場合もあり、母親への伴走支援を始めています。誰もが「働くことができる」という選択肢と「自らの暮らしに誇りを持てる」ということを取り戻していく、それがHito Rehaにできることだと思っています。

Hito Rehaは、障がいの有無、年齢、価値観、人種などあらゆる違いを認め合い、共に暮らしを豊かにできる存在で在り続けます。そして、誰もが地域や社会に心地よく生きていける寛容な社会を実現していきます。



HitoReha

一般社団法人ヒトリハ

誇りを持ち、共に愉しむ